

タイムスケジュール

	第1会場 (1階講堂)	第2会場 (2階6号室)	企業展示 (1階1号室)
10:00	10:00～10:05 開会式		10:00～17:30
10:05	10:05～11:05	10:10～11:00	
10:30	一般口演1 E (医療の質) H (クリティカルパス) O1-1～O1-8 座長：横尾志おり	一般口演3 F (医療安全) J (高度医療への対応) O3-1～O3-7 座長：伊藤 徹郎	
11:00	11:05～12:05	11:00～11:50	
11:30	一般口演2 E (医療の質) O2-1～O2-8 座長：石崎 律子	一般口演4 F (医療安全) O4-1～O4-7 座長：中村 京太	
12:00			
12:30		12:10～13:10 ランチョンセミナー 糖尿病診療連携から広がる連携のあれこれ ー地域連携・院内連携・多職種連携ー 演者1：山田 昌代 演者2：林 哲範 座長：鈴木 洋 共催：アボットジャパン合同会社	
13:00			
13:30	13:15～14:45	13:15～13:50 一般口演5 B (病院運営におけるICTの活用) C (医療DX, AI, IoT) O5-1～O5-5 座長：田邊 頌章	企業展示
14:00	シンポジウム 医療改革はどこまで達成できたか？ 演者1：田村 功一 演者2：中尾健太郎 演者3：渡邊 輝子 演者4：石崎 兼司 座長：田中 邦哉	13:50～14:20 一般口演6 D (地域連携) O6-1～O6-4 座長：大野 直子	
14:30		14:20～14:55 一般口演7 A (働き方改革) O7-1～O7-5 座長：服部 智任	
15:00	14:50～15:50 特別講演 JALグループにおける安全の層を 厚くする取り組みについて 演者：松田 紀男 座長：高橋 寛		
16:00	16:00～17:00	16:00～17:00 アフタヌーンセミナー アセスメント力向上セミナー心電図編 ーVPCから考える報告のコツー 演者：青柳 智和 座長：笠原 真悟 共催：ニプロ株式会社	
16:30	一般口演8 K (人材育成) O8-1～O8-8 座長：小笠原京子		
17:00			
17:30	17:05～17:35 一般口演9 G (感染管理)、I (患者サービス) O9-1～O9-4 座長：黒木 利恵	17:10～17:35 一般口演10 O (その他) O10-1～O10-3 座長：佐々木仁美	17:30～18:30
18:00	17:35～ 閉会式		撤去

プログラム

第1会場(1階 講堂)

開会式 ————— 10:00 ~ 10:05

開会挨拶：第24回学術集会会長

高橋 寛 (昭和大学藤が丘病院 院長)

支部長挨拶：日本医療マネジメント学会神奈川県支部 支部長

山本 登 (医療法人五星会 菊名記念病院 理事長)

一般口演1「E (医療の質)」 「H (クリティカルパス)」 ————— 10:05 ~ 11:05

座長：横尾志おり (昭和大学藤が丘病院)

- O1-1 急性期病院における身体拘束の低減に向けた取り組みと成果
市村 菜奈 (昭和大学大学院 保健医療学研究科 医系基礎・専門・教育分野
総合医療学領域/昭和大学藤が丘病院 看護部)
- O1-2 身体抑制最小化の取り組み初年度の活動報告
—6か月の活動を通しての看護師の意識変化—
坂本みづ希 (医療法人五星会 菊名記念病院 看護部)
- O1-3 身体的拘束最小化チームの発足
—新設までのプロセスと今後の展望—
熊倉 絵理 (独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 看護部)
- O1-4 身体拘束最小化に向けた取り組み
佐々木仁美 (昭和大学藤が丘病院/昭和大学藤が丘リハビリテーション病院/
昭和大学 保健医療学研究科 医系基礎・専門・教育分野)
- O1-5 身体拘束最小化に向けて、医療チームで行う組織的な取り組みの重要性
池上 穂 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 回復期病棟)
- O1-6 身体拘束カンファレンス記録をデータ処理化することの意義
阿部 朋晋 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 看護部)
- O1-7 入院関連機能障害の予防に向けた看護介入に関する考察
飯野 美朋 (昭和大学横浜市北部病院 7A (消化器センター) 病棟)
- O1-8 クリティカルパスにおける静脈血栓塞栓症予防の標準化への取り組み
高田 礼 (神奈川県済生会横浜市東部病院)

一般口演2「E (医療の質)」 ————— 11:05 ~ 12:05

座長：石崎 律子 (医療法人五星会 菊名記念病院)

- O2-1 外来化学療法室におけるタスクシフトと看護の質向上を目指した (取り組みに関する)
実践報告
飯沼 希咲 (JMA 海老名総合病院 外来)
- O2-2 放射線治療部門における Quality Indicator (QI) 導入の有効性
平井 隆寛 (昭和大学藤が丘病院 放射線技術部/昭和大学大学院 保健医療学研
究科 博士後期課程 医療技術領域)

プログラム

- O2-3 整形病棟における意思決定支援の効果
藤後 秀輔（昭和大学大学院 保健医療学研究科 医系基礎・専門・教育分野医療
マネジメント学領域）
- O2-4 特定行為研修「インスリンの投与量の調整」を修了した看護師の実践
野地 俊成（独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 看護部）
- O2-5 当院における病棟での薬剤師業務評価
－病棟業務時間の拡充を経験して－
藤巻 智則（済生会横浜市南部病院 薬剤部）
- O2-6 死亡症例検討会による死亡診断書の質向上についての取組み
柏木 伶菜（湘南鎌倉総合病院 診療情報管理室）
- O2-7 2次救急外来を受診した認知症患者に対する看護師の困難感を明らかにする
－現場スタッフのアンケート分析－
葛西 悦子（医療法人五星会 菊名記念病院 救急外来）
- O2-8 地域における医療・介護の複合施設の有用性
－デイサービスでの急変から、その人らしい生き方へ繋げる－
高澤智桂子（医療法人救友会 看護介護施設事業部）

シンポジウム

13:15～14:45

座長：田中 邦哉（昭和大学藤が丘病院）

医療改革はどこまで達成できたか？

横浜市立大学附属市民総合医療センターでの機能変革の試み：

YCU Medical Center: 先端医療の、その先へ

田村 功一（横浜市立大学附属市民総合医療センター／
医学部循環器・腎臓・高血圧内科学）

慢性期病院において医療改革はどこまで達成できたか？ また、どこに行くのか？

中尾健太郎（IMS〈イムス〉グループ
イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院）

医療改革の中の看護師によるタスクシフトシェア

渡邊 輝子（済生会横浜市東部病院）

医療改革はどこまで達成できたか？

－昭和大学の事例をもとに－

石崎 兼司（昭和大学 統括病院 事務部／昭和大学病院 事務部）

特別講演

14:50～15:50

座長：高橋 寛（昭和大学藤が丘病院）

JALグループにおける安全の層を厚くする取り組みについて

松田 紀男（日本航空株式会社 空港本部）

プログラム

一般口演 8 「K (人材育成)」 ————— 16:00 ~ 17:00

座長：小笠原京子（昭和大学横浜市北部病院）

- 08-1 皮膚・排泄ケア認定看護師による皮膚障害のリスクに関する研修の試み
ーインシデントレポート報告数の変化ー
日野 創（医療法人社団恵生会上白根病院）
- 08-2 コロナ禍における Z 世代新人看護職員の教育体制の見直し
ートライアルローテーション研修の取り組みー
阿部 徳子（JA 神奈川県厚生連相模原協同病院 看護部）
- 08-3 ベトナム人看護師の受け入れに伴う日本人看護師の思い、取り組みと教育支援
及川 知子（医療法人五星会 菊名記念病院 W5 病棟）
- 08-4 胸部 X 線検査における患者介助時の放射線技師の水晶体被ばく低減を目的とした
教育効果の検証
安田 光慶（昭和大学藤が丘病院 放射線技術部／昭和大学 保健医療学部）
- 08-5 新人看護職員のメンタルヘルス支援の継続的な取り組みについて
田中 伸（昭和大学大学院 保健医療学研究科 医系基礎・専門・教育分野総合
医療学領域／昭和大学藤が丘病院 看護部）
- 08-6 看護管理者が臨床現場で取り組むスタッフに対する倫理的感受性の育成
南部 恭子（昭和大学大学院 保健医療学部研究科 臨床看護ケア開発学領域）
- 08-7 小児看護初心者におけるローテーション中の技術習得に向けた取り組み
畝 浩介（昭和大学大学院 保健医療学部）
- 08-8 看護学生の臨地実習における報告・相談の実態
村田 千夏（昭和大学横浜市北部病院／昭和大学大学院 保健医療学研究科）

一般口演 9 「G (感染管理)」 「I (患者サービス)」 ————— 17:05 ~ 17:35

座長：黒木 利恵（神奈川県立循環器呼吸器病センター）

- 09-1 移植病棟における癒しの環境づくり
ーリハビリルームリニューアル前後の質問紙調査ー
大塚 敦子（東海大学医学部付属病院 看護部）
- 09-2 医師の働き方改革を支える診療体制の最適化：COVID-19 の経験から
山口 史博（昭和大学藤が丘病院 呼吸器内科）
- 09-3 水回り環境から検出されたカルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）制御への取り組み
近藤恵美子（昭和大学藤が丘病院 感染管理室 看護部）
- 09-4 当院における COVID-19 蔓延期における急性心筋梗塞診療体制への影響
鈴木 洋（昭和大学藤が丘病院 循環器内科 感染管理室）

プログラム

閉会式 ————— 17:35～

閉会挨拶：第24回学術集会会長

高橋 寛（昭和大学藤が丘病院 院長）

次期学術集会会長挨拶：第25回学術集会会長

服部 智任（JMA 海老名総合病院 病院長）

第2会場(2階 6号室)

一般口演3「F（医療安全）」「J（高度医療への対応）」 ————— 10:10～11:00

座長：伊藤 徹郎（済生会横浜市東部病院）

O3-1 セントラルモニタ（CM）の電波受信不具合におけるマネジメント

－臨床工学技士による電波管理の重要性－

野川 悟史（昭和大学藤が丘病院 臨床工学室）

O3-2 心電図モニターアラーム低減の取り組み

西 洋子（昭和大学大学院 保健医療学研究科 臨床看護ケア開発領域／
昭和大学藤が丘病院 看護部）

O3-3 X線単純撮影における「6R」の導入とその効果について

櫻井 智哉（昭和大学藤が丘病院 放射線技術部）

O3-4 放射線画像診断報告書に対する報告書管理対策チームの取り組み

大澤 三和（昭和大学江東豊洲病院）

O3-5 MRI 検査件数増加への取り組みと成果

本寺 哲一（昭和大学病院 放射線技術部／昭和大学 保健医療学部 大学院保健医
療学研究科）

O3-6 血管撮影部門におけるインシデントの実態調査

岩崎 真之（東海大学医学部付属八王子病院 放射線技術科）

O3-7 神奈川県における医療機器不足に関する質的調査

－COVID-19 流行による ECMO の事例－

北原 大（神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科／昭和大学
横浜市北部病院 臨床工学室）

一般口演4「F（医療安全）」 ————— 11:00～11:50

座長：中村 京太（横浜市立大附属市民総合医療センター）

O4-1 消化器センターにおける看護師の血糖管理の意識へのアプローチ

－新人～中堅看護師対象の学習会を通じて－

菊田 一夫（昭和大学大学院 保健医療学研究科 看護分野 看護マネジメント学
領域）

プログラム

- 04-2 済生会横浜市南部病院におけるインスリン・グルコース療法の組成について
上原 美佐 (済生会横浜市南部病院 医療安全管理室)
- 04-3 医薬品の安全適正管理システム McHIL (マックヒル) 導入による調剤の安全性と有用性
藤原 久登 (昭和大学藤が丘病院 薬剤部)
- 04-4 術前介入システム構築への取り組み
辻本さなえ (昭和大学藤が丘病院 医療安全管理室)
- 04-5 高齢患者入院増加に伴う転倒予防対策への取り組み
松岡 恵美 (昭和大学藤が丘病院 看護部)
- 04-6 教育的支援を中心とした窒息予防の取り組みにおける病棟看護師の行動変容と今後の課題
佐藤真樹子 (昭和大学大学院 保健医療学研究科 看護分野臨床看護ケア開発学
領域/昭和大学藤が丘病院 看護部)
- 04-7 ショート動画を活用した医療安全教育の新たなアプローチ
吉田 春香 (横浜市立大学附属病院 放射線部)

ランチョンセミナー ————— 12:10 ~ 13:10

座長：鈴木 洋 (昭和大学藤が丘病院)

糖尿病診療連携から広がる連携のあれこれ — 地域連携・院内連携・多職種連携 —

代謝内分泌内科から広がる連携のあれこれ

山田 昌代 (横浜栄共済病院)

糖尿病医療連携の改革—先進デバイス×チーム医療—

林 哲範 (北里大学)

共催：アボットジャパン合同会社

一般口演5 「B (病院運営における ICT の活用)」 「C (医療 DX, AI, IoT)」 ——— 13:15 ~ 13:50

座長：田邊 頌章 (横浜市立市民病院)

- 05-1 LINE を活用した情報発信の効果
— 病院祭参加者動機の分析を通じて —
具伊 和之 (湘南鎌倉総合病院 デジタルコミュニケーション室)
- 05-2 医療現場における DX の活用
— 音声入力を活用した業務改善の取り組み —
鈴木 千恵 (横須賀共済病院 A 棟 4 階)
- 05-3 当院の医療 DX に向けた取組の紹介
和田 耕一 (医療法人五星会 菊名記念病院 医療情報システム室)
- 05-4 PHR アプリ導入に伴う、外来待ち時間アンケートの変化
服部 豊 (湘南鎌倉総合病院 病院デザイン室)

プログラム

05-5 時代の変化に対応したサステイナブルな手術室運営

ータスクシフトとDXー

長嶺 園美（独立行政法人労働者安全機構 横浜労災病院 看護部 手術室）

一般口演6「D（地域連携）」————— 13：50～14：20

座長：大野 直子（小田原市立病院）

06-1 行政職員と共に実施する倫理カンファレンスを退院支援に用いた1症例

鈴木 桂子（小田原市立病院 地域医療連携室）

06-2 渉外活動の活性化による患者紹介数増加と地域医療の未来を探る

今川 康正（済生会 神奈川県病院 医療連携室）

06-3 新生児部門における地域連携の取り組みと課題

ー新たな家族の生活を支援するためにー

山本 亜希（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 周産期センター新生児部門）

06-4 院外処方問い合わせ簡素化プロトコルの有用性

田中 広紀（昭和大学病院附属東病院 藤が丘リハビリテーション病院 薬局）

一般口演7「A（働き方改革）」————— 14：20～14：55

座長：服部 智任（JMA 海老名総合病院）

07-1 タイムマネジメントに着目した働き方改革

ーワークライフバランスを向上するための取り組みー

合田 明香（独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院）

07-2 当院整形外科における診療看護師（NP）導入の効果

内山 順次（独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院 看護部）

07-3 当院における診療看護師（NP）の活用への取り組みと現状

金田 明子（済生会横浜市東部病院 診療部 診療特定看護師室）

07-4 PET/CT検査におけるタスクシフトの取り組みについて

隅 真一郎（昭和大学横浜市北部病院 放射線技術部）

07-5 医療系学生アルバイトを活用したタスクシフト／シェアにおける現状調査報告

小池あつ子（昭和大学藤が丘病院）

アフタヌーンセミナー————— 16：00～17：00

座長：笠原 真悟（岡山大学）

アセスメント力向上セミナー心電図編ーVPCから考える報告のコツー

青柳 智和（水戸済生会総合病院 看護師特定行為室）

共催：ニプロ株式会社

プログラム

一般口演 10 「O (その他)」 17:10 ~ 17:35

座長：佐々木仁美 (昭和大学藤が丘病院)

O10-1 摂食嚥下に対するアプローチ

ーろうけんにおけるミールラウンドからのシステム構築ー

永井 喜和 (社会福祉法人 日本医療伝道会 介護老人保健施設 衣笠ろうけん)

O10-2 仕事のやりがいと互いの成長が得られる職場を目指して

ー看護補助者ラダーの導入ー

大野 直子 (小田原市立病院 看護部)

O10-3 映像教材を活用した手術室の災害対応への取り組み

平尾由美子 (恩賜財団済生会横浜市東部病院 手術室)